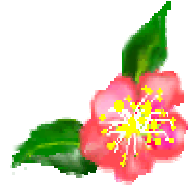


船橋 YMCA 通信



No.34 2007年1月1日

編集 千葉YMCA船橋地域デポ運営委員会 発行人 榎 一光
〒273-0825 船橋市夏見6-6-6 日本基督教団船橋教会内
電話：(047)425-6366 F A X：(043)222-5061



あけまして

おめでとうございます

今年が皆様にとって良い年になることをお祈りいたします。

千葉YMCA船橋地域デポ運営委員一同

2007年も“地域の触媒”

としての活動を続けます

船橋YMCAは、2年前からチャリティーランに車いすで参加いただいている「船橋市障害者友の会」のメンバーを中心とした障害を持つ方々のご協力をいただきながら、船橋市内の小学校の『車いす体験教室』の企画・実行のお手伝いをしています。

この活動は、運営委員5名の非力な組織である船橋YMCAが、地元地域に密着した運動の触媒となって子どもたちに貴重な体験をプレゼントしているもので、今年も続けて行きたいと思っています。

行田東小の車いす、高齢者・

視覚障害疑似体験教室

11月2日(木)に船橋市立行田東小学校(船橋市行田2-4-1)で「車いす、高齢者・視覚障害疑似体験教室」が午前中の時間を使って開かれました。

対象は3年生全員(127名)で、参加したボランティアは、車いす体験関係が16名(船橋市障害者友の会、車いすダンスグループ矢車草、YMCAリーダー)、高齢者・視覚障害疑似体験関係が8名(社

会福祉協議会、視覚障害者の方とサポーター、YMCAリーダー)の24名でした。



《段差のあるところを車いすで越える体験です》
127名の児童を2グループに分け、1グループは体育館で模擬コースを作り車いす体験、もう1グループは校舎の廊下と階段を使って高齢者・視覚障害疑似体験を約1時間行い、その後グループを入れ替えてさらに1時間の体験を行い、全員が車いす体験と高齢者・視覚障害疑似体験をしました。

これらの体験活動の最後に車いすダンスのメンバーによる車いすダンスの実演と児童も参加した車いすダンスが行われました。



《車いすの操作を習っています》

体験活動終了後にはボランティアのメンバー全員が児童と給食をともにするなど、参加者全員が充実した体験をする事が出来ました。

行田東小でこの体験教室を担当された先生からは、「子どもたちは、実際に車いすの大変さや、介助の仕方にふれることができ、感慨深いものがあったようです。」との感想をいただきました。

高郷小の障害擬似体験教室

12月12日(火)には船橋市立高郷小学校(船橋市西習志野1-47-1)で車いす・視覚障害擬似体験教室が開かれました。

対象は3年生の児童87名で、今回は3年生の保護者会(PTA)が主催されたので、約80名の保護者の方々にご支援をいただきました。参加したボランティアは、船橋市障害者友の会、車いすダンスグループ矢車草、社会福祉協議会、Y M C Aの各組織から総勢24名でした。

ここでも児童を2つのグループに分け、2時間のなかで車いす体験と視覚障害擬似体験の双方を実施しました。



《アイマスクをつけて介助を受けつつ歩きます》

今回も、視覚障害を持つ方2名と介助者1名の参加をいただき、児童への視覚障害の擬似体験の指導をしていただきました。あわせて、体育館内で視覚障害者用各種ツールの展示と使用方法の説明を行いました。

今回も車いすダンスグループの協力により児童と共に車いすダンスを行いました。子どもたちは体験を通して、楽しみながら自分達の知らない世界に驚きを感じるとともに、障害に対する理解を深めた様です。

船橋教会のバザー

11月3日(金)に開かれた日本基督教団船橋教会のバザーに船橋Y M C Aとして参加しました。

今回の収益金は12,710円で、この中から国際地域協力募金へ11,410円を船橋教会献金に1,300円をあてました。バザーにご協力をいただいた方々、またお手伝いをいただいた方々に感謝します。



船橋Y M C A活動記録

船橋Y M C Aの11月、12月の活動記録です。

- ・11月2日(金) 行田東小学校車いす、高齢者・視覚障害擬似体験教室
- ・11月3日(祝) 船橋教会バザー
- ・11月11日(土) そらまめクラブ「あおぞら」
作品：カウントダウンカレンダー作り
参加人数：4名
- ・11月11日(土) 船橋地域デポ運営委員会
- ・11月18日(土) チャリティーラン評価会
- ・11月19日(日) わんぱくクラブ11月例会
内容：科学技術館(東京都千代田区)を見学
参加人数：10名
- ・12月9日(土) そらまめクラブ「あおぞら」
作品：ホットケーキ作り
参加人数：5名
- ・12月12日(火) 高郷小学校障害擬似体験教室

編集後記

この通信を発刊してから6回目の正月を迎えることができました。船橋Y M C Aの歴史を残すために、今後も発行を続けていきます。(槇)

* Y M C Aでは“障害”を“障がい”と表記していますが、今回は通常の表記としました。